

JACS NEWSLETTER

日本消費者行動研究学会ニューズレター

第28巻第3号

発行日●2020年9月23日

発行●日本消費者行動研究学会事務局

第61回 消費者行動研究コンファレンス(オンライン)の概要

<統一論題>

データサイエンスと消費者行動研究

秋の消費者行動研究コンファレンスの開催概要が決定しましたので、ご案内いたします。
第61回は、オンライン開催となり、リアルタイム（生中継型）を基本とします。コミュニケーション・メディア「Zoom」を基本ツールに、論文プロポーザル賞のプレゼンテーションは「VIMEO」、選挙は「e投票」で行う予定です。

ー開催概要ー

開催日程： 2020年10月24日（土）・25日（日）

ホスト校： 大阪市立大学

オンライン研究会参加費：4,000円〔学生会員は2,000円〕※クレジットカード支払い

◆事前申し込み制（当日参加はできませんのでご注意ください）

オンライン懇親会：参加費無料 ※オンライン研究会参加者のみ出席可（詳細後日公開!）

◆テーマ別に複数のルームを用意します。出入り自在でオンライン研究会参加者なら誰でも自由に参加できます。

参加申込方法： JACS Web サイト（<http://www.jacs.gr.jp/>）から受け付けております。

参加申込締切： 10月19日（月）までに必ずお申込み手続きを行ってください

〔第1日目〕

10:00 - 10:10 開会の辞
10:15 - 11:40 論文プロポーザル賞
11:40 - 13:10 昼食休憩（役員会）
13:10 - 15:00 統一論題 基調講演
15:10 - 16:10 パネルディスカッション
16:10 - 16:25 休憩
16:25 - 17:10 会員総会
17:20 - 17:55 選挙
18:15 - 19:45 オンライン懇親会

〔第2日目〕

10:00 - 10:40 会長講演
10:45 - 12:00 自由論題研究報告①
12:00 - 13:00 昼食休憩
13:00 - 14:00 自由論題研究報告②
14:00 - 14:20 休憩
14:20 - 15:35 自由論題研究報告③
15:35 - 16:00 閉会の辞

—統一論題—

「データサイエンスと消費者行動研究」

須永 努（関西学院大学）

学術研究の世界では近年、点推定や仮説検定を行う際に起こりうる誤りが問題視されています。そのため、消費者行動研究においても、これらに加えて区間推定や効果量も報告する傾向にあります。また、特に心理学を中心に、国際的な学術誌も p 値だけでなく効果量の報告も求めるようになっていきます。

しかしながら、少なくとも消費者行動研究の論文では依然として点推定、つまり p 値に基づいて結論を導いている研究がほとんどであり、十分な対応がなされているとは言いがたいのが現状です。その背景には、研究者の間でも、これらの問題に関する理解が十分とは言えない実情があるのかもしれませんが。

一方、効果量についても、その大きさを解釈する基準に数学的な根拠はなく、経験的な目安しか存在しないという指摘があります。こうした点では、効果量も有意水準と同様の問題を抱えています。加えて、効果量が持つ値の意味は分野によっても異なり、最終的には分析者自身が判断するしかないという現状も、効果量の積極的な活用を躊躇させる要因の 1 つでしょう。

近年の学術研究において定量的エビデンスが果たす役割の重さを考えると、これらは単に統計的な問題にとどまらず、消費者行動研究を含む学術研究に関わる全ての者にとって、無視できない根本的な問題といえるのではないのでしょうか。

例えば、サンプルサイズが大きいほど測定誤差は少なくなる（推定の精度が上がる）ため、消費者調査を行うにあたっては、時間的／金銭的コストの許す限り、できるだけ多くの回答者を集めた方が良いというのが、一般的な考えでした。しかし一方で、すでによく知られているように、学術研究が共通のモノサシとして長年使用してきた p 値には、サンプルサイズが大きくなると

小さく、つまり帰無仮説が棄却されたと結論づけやすくなるという性質があります。以前のようにサンプルを多く集めるのが非常に難しかった時代では表面化しにくかったこの性質が、インターネットを使って非常に多くの回答者を短期間に、低コストで、容易に集められるようになったことで、研究者が直視すべき問題となりました。

ところで、効果量の活用促進は、企業で大規模な消費者データを解析するデータサイエンティストにも大いに関わりのあることだと思います。扱うデータそのものが大きいこともあり、有意水準や統計的検定の考えとは距離を置いていた実務家も、特定の要因が及ぼす影響の大きさには関心があるに違いありません。

したがって、このような議論は日本消費者行動研究学会の研究水準向上だけでなく、データサイエンスと消費者行動研究、および学術研究者と企業リサーチャーによる連携や相互作用をいっそう促すことが期待されます。

第 61 回コンファレンス統一論題ではまず、お二人の先生に基調講演をしていただきます。1 人目は心理統計学・ベイズ統計学の方法論と応用に関する研究において、日本を代表する研究者である岡田謙介先生（東京大学）をゲストスピーカーとしてお招きします。2 人目は、実務での豊富なマーケティング・リサーチ経験も持つ上田雅夫先生（横浜市立大学）にご登壇いただきます。

続いて、基調講演者のお二人に、マーケティング・リサーチの専門家であり、統計的推定にも造詣が深い石淵順也先生（関西学院大学）を加え、パネルディスカッションを行います。

パネルディスカッションでは、フロアからも質問を募る予定です。会場全体で活発な議論が展開されることを期待しています。

2020 年度国際学会派遣案内

日本消費者行動研究学会では、学会のグローバル化推進の一環として、学会員の海外学会発表（ポスター・セッションを含む）に対する助成を行っています。

海外発表の好機となりますので、会員の皆様におかれましては是非とも奮ってご応募ください。申請時につきましては、報告予定でも構いません。

なお、発表が不採択となった場合、助成金は、返還していただくこととなりますので予めご了承ください。

【助成内容】

1. 渡航費 : 上限 20 万円
2. 英文校閲費 : 上限 5 万円

【応募要件】今年度募集分より以下の要件を設けます。

1. 運用について：
 - ・採用は、お1人の先生につき最大2回まで
- 2 義務について：
 - ①助成年度から3年間は、JACSの会員として活動を継続すること
 - ②助成年度から3年以内に、日本消費者行動研究学会のコンファレンスにおいて1回以上研究発表を行うこと

【応募要領】

海外発表助成への応募を明記し、E-mailにてご応募ください。

●E-mail 記載事項：

- ①申請者および発表者全員の氏名（少なくとも1名が会員であれば応募可能です）
- ②申請者および発表者全員の所属先
- ③発表学会名
- ④発表時期（来年度の発表も応募可能です）
- ⑤発表論題

●E-mail 宛先：jacs@asas-mail.jp（日本消費者行動研究学会 事務局）

●E-mail 件名：「JACS 国際学会派遣助成申請__申請者氏名」と記してください。

【応募締切】2020 年 10 月 14 日（水）

※締切を延長いたしました

【採否通知】

国際学会派遣審査委員会にて助成対象者を決定の上、2020 年 10 月下旬（10/30 頃）に採否について、事務局より連絡いたします。

※採択後の義務・その他、詳細につきましては JACS Website をご覧ください。

<http://www.jacs.gr.jp/announcement/index.htm>

学会費の「銀行振込み」についてのお願い

会費納入に際しましては、事務局から郵送でお送りしている「郵便局の振込用紙」でのお振り込みをお願いしておりますが、

銀行振込をご利用の場合、大学名や企業名などの「組織名」から入力されますと、振り込みました「個人名」が特定できないというケースが出てきます。「銀行振込」の際には、必ず「個人名」から記入していただきますよう、ご協力をお願い致します。

やむを得ず組織名から（または組織名のみ）の振込人名になる場合は、事務局まで e-mail にてご一報いただきますようお願い致します。

ご所属・ご住所の変更についてのお願い

★ご登録の所属先等が古いままで、更新されていない方が多く見受けられます。

ご所属やご住所が変更となる際には、必ず JACS 事務局へご連絡ください。お手数ではございますがよろしくお願い致します。

なお会費納入時、「郵便局の振込用紙」に変更箇所を明記されるケースが見受けられますが、変更のご連絡は、下記 JACS 事務局までお願い致します。

なお、JACS Website からご自身で直接、変更可能ですので、是非ご活用ください。

新入会員の募集について

本学会への入会を希望される方は、ホームページから入会申込書をダウンロードの上、必要事項を記入、捺印の上、事務局まで郵送でお送り下さい。

●入会資格

[学会会員]

消費者行動の研究・教育に従事する大学の専任教員、大学院在籍者（在籍経験者を含む）、およびそれに準ずる者（文部省が学術研究団体と認める学会の正会員、大学の非常勤講師としての教歴を有する者、等）。但し、学会会員 2 名の推薦が必要。

[賛助会員]

本学会の趣旨に賛同する法人および個人。法人会員の会員特典については、事務局へお問い合わせください。

●年会費

[学会会員] 10,000 円

（但し、大学院生は 5,000 円に減免）

[賛助会員] 個人会員 1 口 5,000 円

法人会員 1 口 50,000 円

●日本消費者行動研究学会(JACS)事務局のご案内●

(事務局) 同志社大学 商学部 高橋広行研究室
〒602-8580 京都府京都市上京区今出川通烏丸東入
Email: jacs.assist@gmail.com

(事務取扱) 日本消費者行動研究学会 事務取扱
〒112-0012 東京都文京区大塚 5-3-13 小石川アーバン 4F
一般社団法人 学会支援機構内
Tel: 03-5981-6025 Fax: 03-5981-6012 Email: jacs@asas-mail.jp

<JACS Website>

<http://www.jacs.gr.jp/>